

SRDL-3PS-A2 速度監視警報機

取り扱い説明書

ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本製品を安全にお使いいただくため、次の事項をお守り下さい。



- 1) 感電の恐れがありますので、100V 用コードから200V 用コードに取り替える等々、端子へ接続する場合は活線状態では行わないで下さい。
端子の接続の緩みのないようにしっかり締めてください。
- 2) 次のような場合は、故障・誤動作の原因になりますので、ご使用を避けてください。
 - 高温・多湿やほこり・腐食性ガス等の多い場所
 - 外来ノイズ、電磁波、電波、静電気の発生の多い場所
- 3) 精密機械のため運搬、取り付け、その他取り扱いには十分にご注意ください。
- 4) 本機の使用・規格に適する範囲でご使用ください。

DYNATEC
株式会社 ダイナテック

SRDL-3PS-A2

速度監視警報器の機能設定

取り付け台に取付ける前に以下の機能設定を行ってください。

機能設定の前に: 100V 電源でお使いの場合は既に結線されている電源ケーブル(黄色)のまま
でお使いいただけます。(写真③参照)

200V 電源でお使いの場合は既に結線してあります黄色の100V 用電源ケーブルをはずして、
付属の200V 用ケーブルを取り付けてください。(写真②④参照)

なお、200V 電源の場合差込形状が複数ありますのでお使いになる200V 電源に合った差込
プラグをご用意下さい。

付属の200V ケーブルには差込プラグは付いていません。

1-1 計測機能の設定

- (1) 警報アナウンス内容の設定
- (2) 警報速度の設定
- (3) 警報ランプ点滅時間の設定
- (4) 警報アナウンスのボリューム設定
- (5) 外部出力
- (6) 動作
- (7) 回路図

(2) 警告アナウンス内容の設定(以下音声設定という。)と(3) 警報速度の設定
および(4) 警報ランプ点滅時間設定は本体内部の基板上的設定スイッチ『設定1』
『設定2』で行います。
警報アナウンスのボリューム設定は本体上部の点滅灯のパネルはずし内部ボリューム
調整つまみで行います。

(1) 警告アナウンス内容の設定(写真⑤⑥参照)

設定は『設定1』スイッチで設定します。音声の種類は3種類あります。
流したい音声のスイッチをONにします。(上にスライド)

設定1-“1”をON⇒「スピードオーバーです。ご注意ください。」
設定2-“2”をON⇒「スピードの出し過ぎ、無理な運転はやめましょう」
設定3-“3”をON ⇒「ゆっくり前進してください。」

いずれのスイッチも ON になっていない場合は音声流れません。
複数のスイッチが ON になっている場合は番号の小さい方が優先されます。

(2) 警報速度の設定(写真⑤⑥参照)

速度設定は『設定2』スイッチで設定します。速度は4種類。

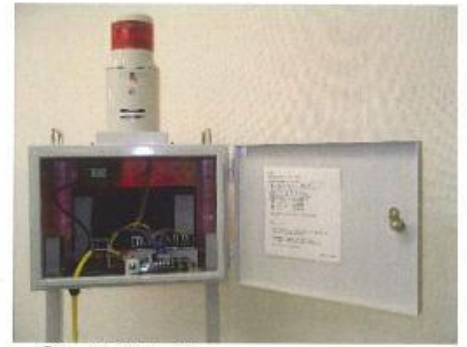
設定2-“1”と“2”を OFF にする。 ⇒10km/h 以上警報
設定2-“1”を ON、“2”を OFF にする。⇒15km/h 以上警報
設定2-“1”を OFF、“2”を ON にする。⇒20km/h 以上警報
設定2-“1”と“2”を ON にする。 ⇒25km/h 以上警報

(3) 警報ランプ点滅時間の設定(写真⑤⑥参照)

点滅時間は『設定2』で設定します。2種類の時間から選択できます。

設定2-“3”を ON にする。 ⇒ 約7秒点滅する。
設定2-“3”を OFF にする。 ⇒ 約5秒点滅する。

- ※ 動作テスト:『設定2』-“4”を ON にすると警告灯が点滅し、設定したアナウンスが
流れます。
- ※ 電源スイッチを ON にすると機能チェックのため88km/h が出力されるため、警報が作動し
ます。(警告灯点滅、警報アナウンス)
- ※ その後は児童計測となり、設定速度以上の速度を計測した時は、表示板に計測速度が表示
され、警告灯が4秒間点滅し、アナウンスが流れます。
(速度計測は設定速度以下であっても行い、次の計測を実行するまで表示されます。)
- ※ ランプ点滅中は次の計測対象があっても計測しません。(警報システムも作動しません。)



①本体裏内部



②電源ケーブル
200V 用(グレー)



③100V 用(黄色)



④電源ケーブルとコネクタの位置



⑤電源スイッチと設定スイッチの位置



⑥音声・速度・警報ランプ点滅時間設定スイッチ

(4) 警報アナウンスのボリューム設定

音声ボリューム調整はパトライト側で行います。

- ① パトライト前面のパネル(『PATLITE』と入っている)左上部のつまみネジをはずします。(写真⑦参照)
- ② パネルを引き出すように外すと内側にボリュームつまみがあります。(写真⑧参照)
- ③ このボリュームつまみで音量の調整をします。(右に回すと音量が大きくなり左に回すと小さくなります。)
- ④ 音量調節後は①②で取り外した部品を逆の手順で取り付けてください。

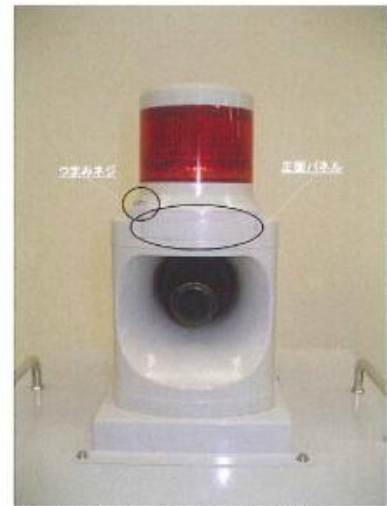
- ※ 前パネルを外すとボリューム調整つまみのほかに選択スイッチ(6個組)が右端にあります。
- ※ 1番(右端)のスイッチをONにすると音声の流れますので音声調整にお使いください。

注) その他のスイッチには触らないでください。

なお、動作テスト(ランプの点滅・音声)は本体ボックス内の設定スイッチ2-4をONにして行ってください。

注) 作業終了後は必ず全面パネルを取り付けて下さい。
水やホコリが入り、故障の原因になります。

注) ボリュームコントロールつまみは軽く回して下さい。強く回すと破損する恐れがあります。
衝撃を加えたり引き抜いたりしないで下さい。



⑦パトライト(PATLITE)前面



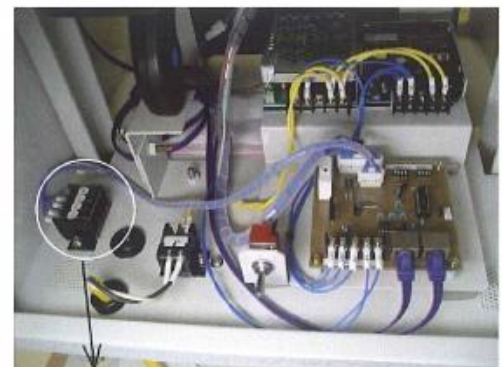
⑧前面パネルを外した状態

(5) 外部出力

外部出力端子を利用すると、本体から離れた場所でも、本体で設定以上の速度を感知すると同時にその信号を利用して、LED文字表示器などに文字を表示することが可能です。組み合わせてお使いいただけます。



組み合わせ例

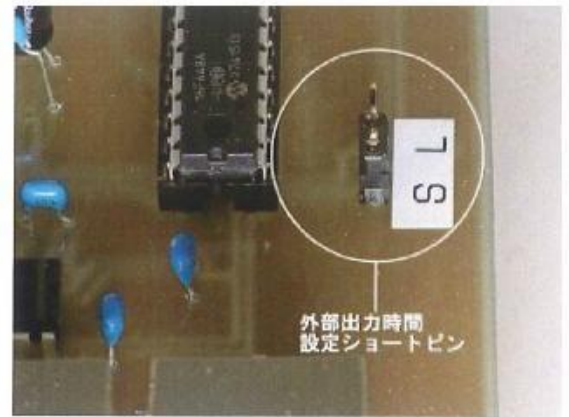
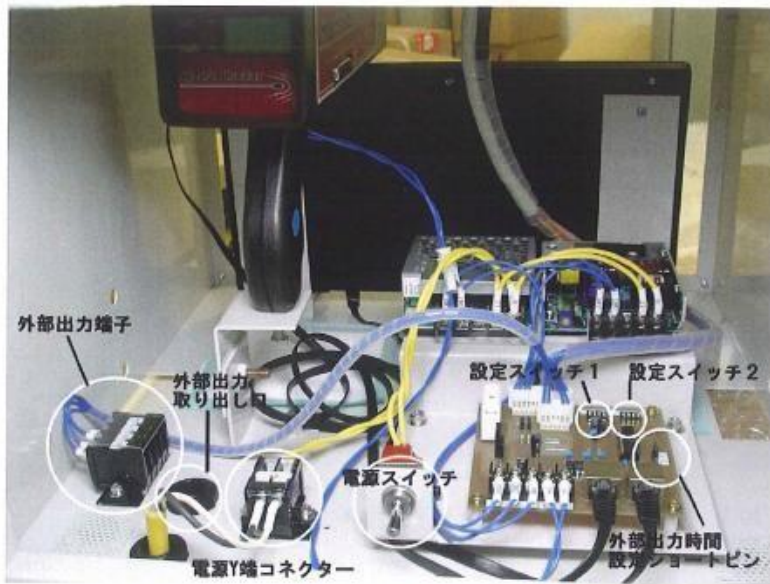


⑨外部出力端子の位置



⑩外部出力端子

外部出力は警報が動作した時に出力され、オープンコレクタ出力となっています。
出力時間の設定は基板上のショートピンで行います。
前頁の回路図 外部出力ショートピン部分をご参照ください。
出荷時は「S」側となっていて約1秒間出力します。
「L」側にすると警報ランプの点滅時間の設定のところで設定した時間(5秒または7秒)出力します。

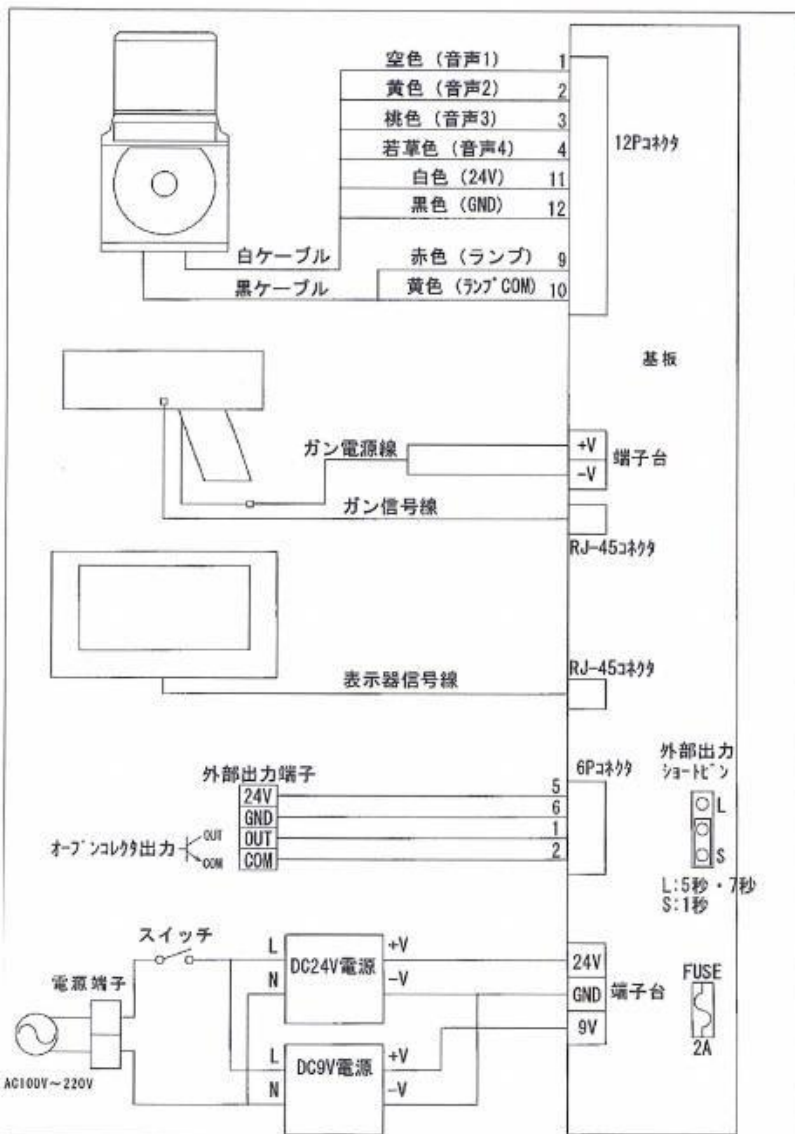


⑪外部出力時間設定ショートピン

製品出荷時はショートピンの位置は『S』にセットされていて約1秒出力します。

『L』側でセットすると5秒又は7秒出力します。
5秒、7秒の違いは先に設定した警告ランプの点滅時間によります。
警告ランプの点滅時間が5秒に設定されていれば、外部出力時間も5秒となります。

(7)回路図 Ver.2.1



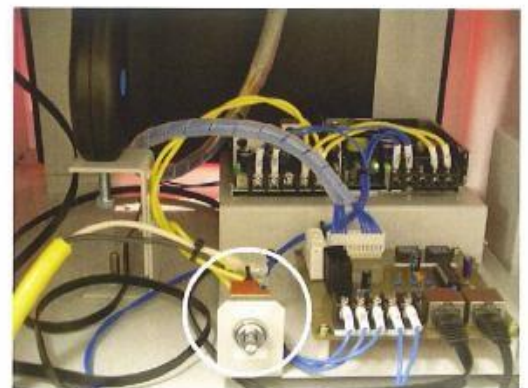
6)動作 (電源スイッチをONにする。)

- ⑫ 電源スイッチをONにすると機能チェックのため
- ⑬ 88km/hが出力され、警報が動作します。

- ※ 警報はランプが設定時間の間点滅し、設定したアナウンス内容の音声が流れます。
- ※ 速度表示は次の計測をするまで、ひとつ前の計測速度を表示します。

その後自動計測モードになり、設定速度以上の速度を計測した場合に警報が動作します。

- ※ ランプ点滅中は速度計測しても警報システム側は扱いません。
電源スイッチがOFFになるまで動作します。



⑫電源スイッチ

※ 1日の稼働終了時には必ず電源をOFFにしてください。

SRDL-3PS-A2

速度監視警報器の組み立て

梱包には次のコンポーネントが含まれます。

- (1)SRDL-3PS-A 本体
- (2)本体正面用底
- (3)取り付け台(ベースプレート)
- (4)支柱(角型パイプ)2本
- (5)固定ネジ(Φ8x20mm)6個
- (6)本体ボックス開閉キー 2個
- (7)200V 用電源ケーブル
- (8)スパナ(13-17mm)1本



1. 組み立て完成写真

1. ご使用までの組み立て手順

1-1 計測機能の設定 別紙説明書をご参照ください。

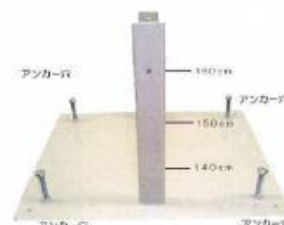
- 警報アナウンス内容の設定
- 警報速度の設定
- 警報ランプ点滅時間の設定
- 警報アナウンスのボリューム設定



2. 本体ボックス開閉

1-2 取り付け台の組み立て

- ① (3)取り付け台の二本のパイプ柱にネジ用の穴が外側にくるように(4)支柱を差し込みます。穴の位置を合わせネジを差込み、締めてつけて 固定します。高さは地上から本体天井までの高さで 140 cm・150cm・160cm の3段階調節ができます。(写真4、5参照)
- ② 次に機能設定済みの本体を支柱に取り付けます。本体底部の二箇所の四角い支柱差込口に支柱の先を差込みネジで締付け固定します。高い位置での作業になりますので本体の取り扱いには十分気をつけてください。(写真4、6参照)



4. 取り付け台



5. 支柱の取り付け

これで組み立ては完了です。但しこれだけでは不安定ですので、計測位置が決まれば必ずその場所に取り付け台の四隅にある穴を使って、アンカーを打ち込み地面にしっかり固定し、さらに土嚢など重しになるものをのせてください。



6. 本体の取り付け

SRDL-3PS-A2

速度監視警報器の設置方法

機能設定・取り付け台の設置が完了したら、計測位置に設置し、計測方向を決め、固定します。

1-1 設置位置

出来るだけ道路に近いところで道路に平行な方向で計測対象車を狙える位置に水平に

設置します。真正面に近い位置ほど計測しやすく正確な計測が行えます。車両の進行方向に

対する入射角が 5° 以内にあれば最善です。この角度が大きくなるほど誤差が大きくなります。

(下記のコサイン効果表をご参照ください。)

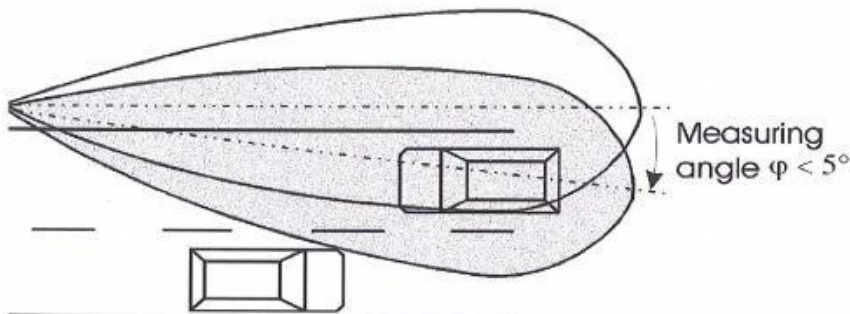
設置場所がきまれば前方25m~30m先の車両をねらえる向きに本体正面を向け、

電源をオンにして計測テストを行います。

計測感知しにくい時は本体内部のスピードガンの方向を微調整して最も計測しやすい方向に

ねらいをつけてください。

ガンを固定しているネジをゆるめて縦方向、横方向調整できます。方向が定まったら、しっかりとネジを締めて固定してください。



測定角度が 5° 以上になると、速度値が小さくなりすぎ、規定の制度をもたない測定エラーの原因になることがあります。

コサイン効果:

実測度 100km/h の胴体を計測した場合、胴体の進行延長線に対して、入射角が大きくなればなるほど、いわゆるコサイン効果により計測速度がおおしくなりま

コサイン角	コサイン係数	表示スピード
5°	0.996	100km/h
10°	0.985	99km/h
15°	0.966	97km/h
20°	0.94	94km/h
25°	0.906	91km/h
30°	0.866	87km/h
35°	0.819	82km/h
40°	0.766	77km/h
45°	0.707	71km/h
50°	0.642	64km/h

SRDL-3PS-A2 仕様	
組立時の高さ	三段階調節 地面~本体天井まで: 140-150-160cm
重量	本体 約 18kg
電源	AC 100V / 200V
<計測>	警報速度選択 4速より選択
	精度 $\pm 3\%$
	計測速度範囲 8km/h ~ 322km/h
	計測距離範囲 ~約 100m (対象の大きさ形状により異なる)
<表示>	表示単位: km/h
	表示文字: 赤色 LED 縦 60 x 横 100mm, 3ケタ表示
<警報>	赤色 LED ライト点滅
	デジタル音声アラーム Max.102dB
外部出力	オープンコレクタ出力
消費電力	待機時: 約 0.7W 稼働時: 約 16.8W / 24V
<温度>	使用温度: $4^\circ\text{C} \sim 43^\circ\text{C}$ 保管温度: $-1^\circ\text{C} \sim 52^\circ\text{C}$



盗難・イタズラ防止のため設置中は必ず施錠してください。
設置に際しては必ずアンカー打ち込み、土嚢など置いて倒れないようにしっかり固定してください。
夜間等ご使用にならない時は、電源スイッチをOFFにしてください。

お問い合わせ

株式会社ダイナテック
〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中1-14
TEL.078-857-9255
FAX.078-857-9253
E-mail: info@dynatec.ne.jp